

## 公 告

次のとおり条件付一般競争入札（事前審査型）を行います。

令和6年7月5日

収支等命令者  
佐賀県男女参画・こども局  
こども家庭課長 末次 博之

### 1 競争入札に付する事項

- (1) 委託業務名 母子父子寡婦福祉資金管理システム更新業務委託
- (2) 委託業務の仕様等 別添仕様書による
- (3) 委託期間 契約締結の日から令和7年3月31日
- (4) 委託場所 佐賀県男女参画・こども局  
こども家庭課が認めた場所

### 2 入札参加資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる要件のすべてを満たすこと。

なお、資格要件確認のため、佐賀県警察本部に照会する場合がある。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (3) 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (4) 開札の日の6か月前から開札の日までの間、金融機関等において手形又は小切手を不渡りとなった者でないこと。
- (5) 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けている者又は佐賀県発注の請負・委託契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当する者でないこと。
- (6) 国又は地方公共団体等との間において、当該契約と同種かつ同規模の契約を締結し、これらのうち過去2年間に履行期限が到来した契約を適正に履行した実績を有しており、当該契約を締結しないこととなるおそれがないと認められる者であること。
- (7) 佐賀県内に本店又は支店を有する者。支店の場合は、支店の登記がなされていると共に、県内従業員比率が50%又は県内従業員数が50人以上であること。

- (8) プライバシーマーク及び ISMS を取得していること。
- (9) 自己又は自社の役員等が、次のアからキまでのいずれかに該当する者でないこと、又は次のイからキまでに掲げる者が、その経営に実質的に関与していないこと。
  - ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（令和4年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
  - イ 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
  - ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
  - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
  - オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
  - カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
  - キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用してしている者

### 3 入札者手続等に関する事項

#### (1) 担当課

佐賀県男女参画・こども局こども家庭課（旧館3階）

郵便番号 840-8570

佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

電話 0952-25-7567

電子メールアドレス [kodomo-katei@pref.saga.lg.jp](mailto:kodomo-katei@pref.saga.lg.jp)

#### (2) 入札説明書及び入札関連様式等の交付方法及び交付期間

令和6年7月5日（金）から7月12日（金）まで佐賀県ホームページ（<https://www.pref.saga.lg.jp/>）に掲載する。

#### (3) 入札説明書等に対する質問書の受付等

本業務の内容及び入札手続等に関する質問については、別に定める質問書により行うこと。

ア 質問提出期間 令和6年7月5日（金）から7月12日（金）午後5時までとする。

イ 質問提出方法 原則として電子メールによる。（電話にて到着の確認を行うこと。）

ウ 回答日 令和6年7月19日（金）

エ 回答方法 質問者及び競争入札参加資格確認申請者すべてに電子メールにより回答を送付する。なお、回答日時以降に競争入札参加資格確認申請書の提出があった場合は、その都度電子メールにより回答を送付する。

#### (4) 競争入札参加資格の確認

ア 入札に参加しようとする者（以下「入札者」という。）は、イの提出期限までに別に定める競争入札参加資格確認申請書に必要書類を添付した上で、(1)まで郵送し又は持参し、競争入札参加資格の確認を受けなければならない。

##### イ 提出期限

令和6年7月12日（金）午後5時（郵送の場合には、同日の午後5時までに必着のこと。）

期限までに提出しない者又は競争入札参加資格がないと認められた者は、入札に参加することができない。

ウ 競争入札参加資格の確認結果は、令和6年7月19日（金）までに通知する。

#### (5) 入札者の資格の喪失

入札者は、入札日時までにおいて、次のいずれかに該当することとなったときは、入札者の資格を失うものとする。

ア 入札者について、仮差押え、仮処分、競売、破産、更生手続開始、特別清算開始又は再生手続開始の申立てがなされたとき。

イ 手形交換所による取引停止処分、主要取引先からの取引停止等の事実があり、入札者の業務執行が困難と見込まれるとき。

ウ 自己又は自社の役員等が、2の(1)のカのいずれかに該当する者であることが判明したとき、又は2の(1)のカの(イ)から(キ)に掲げる者が、その経営に実質的に関与していることが判明したとき。

エ 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けたとき又は佐賀県発注の請負・委託契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当したとき。

オ その他本件契約に際し、契約を履行することが困難になるとみられる事由が発生したとき。

#### (6) 入札及び開札の日時及び場所

##### ア 日時

令和6年7月29日（月）午前11時

なお、変更の場合は、入札参加者に対し別途連絡する。

イ 場所

佐賀県庁（佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号）旧自治会館3号  
なお、変更の場合は、入札参加者に対し別途連絡する。

(7) 入札方法

入札者若しくはその代理人が入札書を持参し、又は郵送によって入札することとする。

代理人が入札を行う場合は、当該代理人は入札前に委任状を提出し、入札書に記名押印すること。

入札を郵送で行う場合には、外封筒に「母子父子寡婦福祉資金管理システム更新業務委託に関する入札書在中」と表書きし、内封筒に入札書を封入して簡易書留で郵送すること。また、同月9日（火）午後5時までに(1)に必着のこと。

期限を過ぎた入札書は無効とし、開札しない。

(8) 開札に関する事項

開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行うものとする。この場合において、入札者又はその代理人が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

(9) 入札保証金

佐賀県財務規則（平成4年佐賀県規則第35号。以下「規則」という。）第103条第3項第2号の規定により免除

(10) 契約条項を示す場所

(1)に同じ。

(11) 入札方法に関する事項

ア 入札は、別に定める入札書により、本人又はその代理人が行うものとする。ただし、代理人が入札をする場合は、入札前に別に定める委任状を提出するものとする。

イ 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額（以下「入札価格」という。）に100分の110を乗じて得た金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その金額を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望額に110分の100を乗じて得た金額を入札書に記載すること。

## (12) 落札者の決定方法

- ア 規則第 105 条の規定により作成された予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって有効な入札した者を落札者とする。
- イ 落札となるべき同価格の入札をした者が 2 人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者となるべき者を決定するものとする。この場合において、当該入札者のうち開札に立ち会わない者又はくじを引かない者があるときは、これに代えて当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。
- ウ 第 1 回目の開札の結果、落札者がいないとき（入札価格のうち予定価格の制限の範囲内の価格の入札がない場合）は、直ちに再度入札を行う。ただし、郵送により入札書を提出した者が開札に立ち会っていない場合には、再度入札は、後日、日を改めて行う。
- エ 入札は 3 回を限度とし、落札者がいない場合は地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 8 号の規定により、最終の入札において有効な入札を行った者のうち、最低金額を記載した入札者と随意契約の交渉を行うことがある。
- オ 落札者となるべき者の当該入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認めるときは、調査の上、その者を落札者としなないことがある。  
なお、調査に当たっては、見積内訳書等の資料の提出を求めるものとする。

## (13) 入札の無効

次のいずれかに該当する者が行った入札は、無効とする。

なお、無効入札とされた者は、再度の入札に加わることができない。

- ア 参加する資格のない者
- イ 競争入札参加資格確認において虚偽の申告を行った者
- ウ 当該競争入札について不正行為を行った者
- エ 入札書の誤字、脱字等により意思表示が不明瞭であるものを提出した者
- オ 入札書の文字及び記号について消滅しやすい方法で記入されたものを提出した者
- カ 入札価格の記載においてアラビア数字を用いていない入札書を提出した者
- キ 保証金を納入しない者及び保証金の納入額が不足する者
- ク 入札書の金額を訂正したものを提出した者

- ケ 民法（明治 29 年法律第 89 号）第 95 条（錯誤）により取り消すことが認められるものを提出した者
- コ 1 人で 2 以上の入札をした者
- サ 代理人でその資格のないもの
- シ 上記に掲げるもののほか、競争入札の条件に違反した者

#### （14）入札の撤回等

入札者は、その提出した入札書の手換え、引換え又は撤回をすることができない。

#### （15）入札又は開札の中止

天災その他やむを得ない理由により、入札又は開札を行うことができない場合は、これを中止する。なお、この場合における損害は、入札者の負担とする。

### 4 その他

- (1) 入札及び契約の手續において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 契約書の作成の要否 要
- (3) 契約保証金  
規則第 115 条第 3 項第 3 号の規定により免除
- (4) 談合情報があった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、その全てを公表することがある。
- (5) 談合情報どおりの開札結果となった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、契約を締結しないことがある。  
なお、この場合は、原則として改めて公告をし、入札を行うものとする。
- (6) 個人情報取扱特記事項に違反した場合は、入札参加資格停止等の措置を講ずることがある。
- (7) 本入札執行については、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）、地方自治法施行令及び規則の定めるところによる。
- (8) 入札に参加する者は、参加にあたって知り得た個人情報、事業者の情報、その他県の情報（公知の事実を除く。）を漏らしてはならない。
- (9) 仕様書及び附属書類の記載内容の無断転載を禁止する。
- (10) 契約日は 8 月 1 日以降とする。